



小川 純生氏 略歴

昭和22年 9月 愛媛県北宇和郡津島町(現宇和島市)生まれ
神宮皇學館大学(三重県伊勢市)卒業、国学院
大学修了

昭和44年 4月 愛媛県宇摩郡土居町(現四国中央市)・千足
神社権禰宜

昭和61年 4月 愛媛縣護國神社権禰宜、禰宜、神社庁松山
支部理事、愛媛県神社庁協議員、神社庁松山
支部長、神社本庁参与

平成20年12月 愛媛縣護國神社宮司

宮司就任のご挨拶

この度、平成二十年十二月三日の責任役員会に於いて宮司に推薦され、神社本庁より十二月二十六日付けにて、愛媛縣護國神社宮司を拝命致しました。もとより浅学非才の身ではございますが、その責務の重大さを痛感致しております。

この上は前宮司の意を体し、一層精進しご英霊の奉慰願彰と、ご社頭の繁栄護持運営に、私ども職員一丸となって取り組んでいく所存でございます。

今後とも、斯界を始め関係各位ご遺族の皆様のご指導を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

御祭神数

当神社に御鎮祭申し上げております御祭神は四万九千七百二十二柱です。

年頭にあたり

宮司 小川 純生

本年は、昨年の米国発金融危機に端を発した『百年に一度』と言われる経済危機に見舞われ、自動車業界電機業界等の生産部門を中心に、大幅な人員削減が相次ぎ、これらの大手企業の軒並み一千万を超える赤字決算が連日新聞テレビ等で報道され、また社会面では今までは考えられなかった単純な動機による、凶悪な犯罪が多発し、このような内外ともに、未曾有の混乱のなか誕生した麻生政権に大きな期待が寄せられました。

しかし、自らの不適切な発言の繰り返しによる信頼の低下、野党の国益を無視した解散総選挙の政局に持ち込むための国会戦略が、衆参のねじれ国会の下、政府提出の法案が参議院で否決され、重要な法案も成立が大幅に遅れ国民生活に重大な影響を及ぼし、国民の政治不信は極限に達し、内閣支持率も遂に一〇パーセントを切る異常事態となり政治・経済・社会ともに先の見えない暗い幕開けとなりましたが、世界で唯一万世一系のお天皇を戴く我が国は、初代神武天皇が橿原の宮にご即位以来、二六六九年、第一二五代の今上陛下に於かれましては、ご即位式・大嘗祭り満二十年、さらには四月には御成婚五十周年と言う佳節をお迎えに

なられます。

世界の平和と国家・国民の安全、幸福を日々祈念されます陛下の大御心に、私達国民は思いを致し、両陛下に深甚なる敬意と感謝を捧げ、謹んで心より慶祝申し上げますとともにご皇室の益々の繁栄と弥栄を、お祈り申し上げます次第です。

この佳節を壽ぎ、奉祝行事が全国各地で開催され、本県でも二月十一日建国記念日に、愛媛県民文化会館メインホールに於きまして、三〇〇〇人を超す参加者共々県民こぞって盛大に慶祝行事が執り行われました。

ここにご報告させて頂き、本来の日本人の心、自然とともに生き、自然の中に生かされ、自然を愛し畏怖し崇め感謝と祈りを捧げてきた大和民族の心に今一度思いを馳せ、国民総じて大御心にお応えすべく努力を重ね、本来の明るい「日乃本の国」への一日も早い立ち返りを待ちたく思います。

今後の社頭運営について

当神社は、ご承知の通り御英霊を奉斎致し、世界平和、国家の隆昌と国民の幸福、御英霊の慰霊鎮魂、ご遺族へのご加護を日々ご祈念致しております所謂崇敬神社です。

したがって一般神社の氏子のご遺族にあたり、ご遺族の高齢化に伴う激減が少なからず、神社の維持運営に影響が及んでいる今日。

もとより遺族会が神社にとって大きな支柱であり、常に変わらぬご支援、ご協力に心より敬意と感謝申し上げます。

しかし、このようなご遺族の急激な減少による内なる変化に加え、社会情勢の変化、核家族化による先祖祀り、家庭祭祀伝承の断絶等々により、敬神の念が希薄化し、神社を取り巻く環境が大きく変化してまいりました。

この外なる変化、かつては地域社会の心のよりどころであった神社。その役割を今一度再認識し、当社に在ってはご遺徳の宣揚と敬神崇祖の念の昂揚に勤め、春秋の大祭を始め初詣等の各種祭事諸行事により多くの参加・参拝を頂ける神社として、当神社役員の皆様、ご遺族の皆様は言うに及ばず、政界・財界を問わず趣旨に賛同頂ける方々とともに、是非とも恒久的な崇敬奉賛会の設立に向け、全力を尽くし度く存じます。

今後皆様方のご理解、ご協力ご支援をお願い申し上げます。ご協力ご支援をお願い申し上げます。

平成二十年度

第五十五回 新穀 献納祭

愛媛県郷友会主催の平成二十年度新穀献納祭が平成二十一年一月十一日午前十時より愛媛護國神社に於いて晴天にも恵まれ会員四十余名の参列のもと執り行われた。祭典終了後斎館に於て、経過報告、直会が行われた。会長は次のように祭文を奏上した。

祭 文

本日、愛媛護國神社の大前において、ご来賓及び郷友会員多数ご参列のもと、第五十五回新穀献納祭が厳かに執り行われるにあたり、郷友会を代表して謹んで祭文を奏上いたします。

この献穀運動は幾多の事変、特に大東亜戦争において戦禍に倒れ、あるいは遠い異郷の地に亡くなられた郷土のご英霊の皆様方に収穫された新米を献じることから始まりました。

この祭は日本郷友連盟の発足三年前の昭和

二十八年に開始されました。

今日の豊かな生活を享受できるのは、尊いご英霊皆様方の犠牲の上であり、感謝の誠を捧げる慰霊顕彰の伝統行事として定着されています。

今後も永久不滅の愛のある県の誇れる伝統行事として、継続実施する決意を新たにしております。

しかし戦後六十四年を迎え、会員の高齢化による活動の衰退減少が著しく、戦争を知らない世代六十五歳以下の国民が八割を占めています。

平和の尊さと戦争の悲惨さを体得している私達は、先輩として語り継ぐべき重要な継承結節の時節であり、軍歴がなくとも誰でもが入会できる郷友会であること、日本郷友連盟の理念、目的についてはご承知のごとく世界に誇れる日本国の再生を目指し、

三つの柱

一、自分の国は自分で守るという国防意識の普及

二、英霊・殉職自衛官の慰霊顕彰

三、光栄ある歴史及び伝統文化を継承する

の三点具現実行を通じて組織の活性維持に努めて参ります。

一四七万県民のやさしさとパワーを結集し財政構造改革を愛媛の最大の課題として専心努力されている加戸知事に感謝申し上げますと共に、県都松山中村市長の、「日本一の「坂の上の雲」町造りに大いなる成果の上がることを期待致します。

又自衛隊に関しては愛媛県は全国で唯一カソボジア及び国際貢献支援連合会を設立し、海外に派遣されている陸・海・空の隊員に慰問品を贈呈しています。これら日本を遠く離れた各地において過酷な条件にも黙々と任務を達成されている隊員の無事帰国を心より祈念申しあげます。

最後になりましたが、在天のご英霊、どうかご遺族の皆様をはじめ県民全てにご加護を賜り、安らかにお鎮まり下さいますよう祈念し祭文といたします。

平成二十一年一月十一日

愛媛県郷友会会長 嶋 岡 敷 義

波爾宮司逝去のご報告

波爾^{はに} 莊宮司^{さかえ}は昨年十一月二十日、九十三歳で逝去されました。

翌二十一日に告別式を終了しましたことをご報告させていただきますとともに、当日、霰^{アラレ}まじりの荒天の中ご会葬賜り、ありがたく厚く心より御礼申し上げます。

故波爾莊宮司は、昭和六十年に当社の禰宜に就任。

平成元年、同宮司、同年、御創立九十年、御鎮座五十年奉祝大祭を齋行、記念事業、本殿・神門屋根葺き替え、宝物殿建設、平成七年社務所・参集所竣功と次々と社殿を整えられました。

また、愛媛県神社庁舎建設委員として新庁舎建設の大事業を遂げ、愛媛県神社庁副庁長、中国四国護國神社社会幹事、全国護國神社社会副会長を歴任されるなど功績は枚挙にいとまなく、今はただ、故波爾宮司の心を心として英霊の慰霊顕彰に務め、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

沖繩 慰靈の旅

愛媛県遺族会では、平成二十年十一月二十六日から二十八日まで、先の大戦で国内唯一の戦場となり、壮絶な戦闘が展開され、沖縄県民多くの方々とともに尊い命を捧げられました、愛媛県出身二〇七七柱の慰霊祭を五年ぶりに斎行致しました。

十一月二十七日に沖縄県糸満市摩文仁の丘「愛媛之塔」で、関谷勝嗣愛媛県遺族会会長を団長とする三十九名が参列し、厳肅に斎行され、関谷会長が次のように祭詞を奏上した。

祭 詞

本日、ここ摩文仁の丘「愛媛之塔」において愛媛県遺族会の戦没者慰霊祭を執り行うにあたりまして、謹んで慰霊のことはを奏上いたします。

先の大戦において沖縄地域は国内唯一の戦場となり、壮絶な戦いのすえ、愛媛県出身の二千七十七柱が多くの方々とともに尊い一命を捧げられました。

再び故郷の地を踏むことなく散華されたご英霊のご心情を思う時、終戦以来既に六十三年の歳月が流れた今でも万感胸に迫るものがあり深い悲しみが消え去ることはありません。今日、私たちが平和と豊かさを享受できているのは、ひとえに祖国と家族の安泰のために自らの生命を犠牲にされたご英霊のお陰であることを深く心に刻み、改めて感謝と尊崇の誠を捧げるものであります。

私たちはご英霊を誇りに思い、これからも懸命に生き抜いていくことが、ご遺志にお応えする道であると信じます。

最後になりましたが、このたびの慰霊祭にあたり、祭祀諸準備各般にわたりお骨折りにいただいた財団法人沖繩平和祈念財団、並びに愛媛縣護國神社に心から厚くお礼申し上げます。

美しい青い海を一望する摩文仁の丘でご英霊の安らかに眠りになることを心からお祈りし、慰霊のことはといたします。

平成二十年十一月二十七日

財団法人 愛媛県遺族会

会長 関谷 勝 嗣



沖 繩 慰 靈 の 旅 平成 20 年 11 月 27 日 於 愛 媛 之 塔

『戦友団体等による慰霊祭』

平成二十年 愛媛県隊友会
十月五日

『遺族会等による慰霊祭』

- 平成二十年 五月八日 四国中央市土居町長津
- 五月二十七日 今治市
- 六月二日 西予市野村町野村地区
- 六月二十五日 今治市宮窪町
- 六月二十九日 富山丸
- 七月六日 大洲市長浜町白滝
- 七月十七日 南宇和郡愛南町一本松支部
- 十一月六日 今治市関前支部
- 十一月十八日 南宇和郡愛南町西海支部
- 十一月二十一日 今治市伯方町
- 十一月二十一日 南宇和郡愛南町城辺支部
- 平成二十一年 一月二十五日 西予市宇和支部
- 一月二十五日 西予市城川支部
- 三月十二日 西予市三瓶支部
- 三月十九日 今治市上浦町
- 三月二十四日 大洲市肱川町

〔奉納者並びに寄贈図書〕

- 一、土屋文明氏歌碑
十六日桜 一本
京都市伏見区 中本 公様
東京都豊島区 江頭 葉様
- 一、神道と生命倫理
東京都渋谷区 (財)神道文化会様

一、古事記と日本国の世界的使命

東京都国立市 (財)生長の家社会事業団様

一、恩愛をいただいて第二部編二冊

一兵士の戦争体験

ビルマ戦線生死の境

岡山市津島本町 小田 敦 巳様

一、白山信仰史年表

石川県白山市 白山信仰史年表様

一、親子で学ぶ偉人伝 卷三・卷四

東京都練馬区 木村 久子様

一、平安神宮神苑の生きものたち

京都府左京区 平安神宮様

〈永代祭祀料基金奉納者御芳名〉

平成二十年九月

一、六拾万円也 豫科練雄飛会愛媛県人会様

全 十月

一、拾万円也 松山市衣山町 石丸 芳 美様

全 十一月

一、壹万円也 松山市湊町 坂和 武 重様

平成二十年(十月)秋季慰霊大祭奉仕者 (敬称略)

遺族会代表献供奉仕者

婦 人 部 東温市牛淵 紀之内 信子

遺 児 東温市滑川 和田 正 計

献茶菓奉仕者(茶道裏千家淡交会松山支部)

岡本宗由社中 松山市来住町 岡本 かおり

藤家宗里社中 松山市余戸南 中矢 よしこ

献花奉仕者(愛媛県華道会)

聴 春 流 松山市二番町 熊坂 真 富

聴 春 流 松山市二番町 本谷 恵 莉奈

敬神婦人会献供奉仕者(愛媛護國神社敬神婦人会)

大洲市敬神婦人会 大洲市八多喜町 岡 文子

大洲市敬神婦人会 大洲市平野町野田 矢野 郁子

みたまなごめの舞奉仕者

松山市立花 重松 見 奈

松山市立花 中村 佑 美

献吟奉仕者

九日(霊鹽奉安祭・宵宮祭) 松山市鷹子町 安永 江 悠

伊予郡砥部町 水沼 秀 龍

伊予郡松前町 日野 鳳 昇

十日(大祭)

松山市鴨川 玉田 紫 峰

今治市大西町 藤原 萌 洲

松山市神田町 中井 静 玲

尺八献奏者

伊予市米湊 榎野 嵐 将山

献謡奉仕者

九日(霊鹽奉安祭・宵宮祭) 村上清籌他愛媛護國神社献謡会員有志

「田村」

村上清籌他愛媛護國神社献謡会員有志

〈平成二十一年 新春団体祈願者芳名〉

キリンビール(株)松山支社 松山市二番町

(株)一宮工務店松山支店 松山市松前町

(有)幸成総業 松山市来住町

四国通建(株)松山支店 松山市平和通

四国電力(株)松山支店 松山市湊町

四国電力(株)松山支店総務部 松山市湊町

扶桑建設工業(株)松山営業所 松山市問屋町

愛媛県師友会ひの会 松山市衣山

四国中央ホーム(株) 松山市中村

ネットヨタ瀬戸内(株) 松山市中央